

インドネシアの電力事情

1. インドネシアと当社の比較

	インドネシア*	当社
発電設備（電気事業用）	2,252 万kW	6,247 万kW
水力	322 万kW	899 万kW
火力（地熱含む）	1,930 万kW	3,618 万kW
原子力	-	1,731 万kW
最大電力	1,926 万kW	6,430万kW(2001年7月)
販売電力量	1,070 億kWh	2,974 億kWh

（インドネシア：2005年末、当社：2007年度末）

* インドネシア国有電力会社（子会社含む）

2. インドネシア国有電力会社について

インドネシア国有電力会社は、エネルギー政策の企画立案を担当するエネルギー鉱物資源省の管轄の下にある。国有電力会社およびその子会社、I P Pが発電部門を受け持ち、送電、配電を国有電力会社が一貫体制にて運営している。

3. 電力需要

電力需要は、アジア通貨危機などの影響により1998年に一時停滞したが、経済の回復に伴い上昇傾向にある。

パイトン発電所が連系されているジャワ・バリ系統では、2025年までに石炭火力とガスコンバインド・サイクルを中心に累計で5,456万kWを開発する予定である。

以 上